

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全		25年度事業・施策評価結果		責任者	企画調整室 事業担当課長	
施策名	港の安全性・信頼性の向上		成果	コスト			
事務事業名	沿岸防災情報管理システムの改良				連絡先 連携課	052-654-7921 工事課、施設事務所	
目的	対象(誰・何を)	沿岸防災情報管理システム				事業 期間	平成24~27年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	高潮対策として海岸保全施設の改良等を行うことにより、海岸保全施設の機能を維持します。					
概要	整備場所:本庁舎、名古屋市港区潮風ふ頭、大手ふ頭、築地・ガーデンふ頭、築地東ふ頭、昭和ふ頭、船見ふ頭、潮見ふ頭 内容・規模:現行システムを改良し、防潮扉閉鎖の連絡時間短縮や電源・通信回線のバックアップ、収集した各種防災情報(堀川、中川の水門開閉状況、ポンプ稼働状況等)をWeb画面に集約する「情報の見える化」などシステムの機能強化に取り組みます。 総事業費:3.3億円 事業手法:防災・安全交付金(津波・高潮危機管理対策緊急事業)				根拠 法令等	社会資本整備重点 計画 海岸保全基本計画	
事業着手時点の 評価	海岸保全施設の改良等を行うことで、海岸保全施設の機能が維持され、背後地域の生命財産を守ることができます。				実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
26年度の実施予定	本庁舎の管理システム及びガーデンふ頭、大江ふ頭、汐止ふ頭、潮見ふ頭等に設置してある無線中継局の改良を行う予定です。				関連 シート		

2 DO(実施)

26年度に実施した 内容・結果	本庁舎の管理システム及びガーデンふ頭、大江ふ頭、汐止ふ頭、潮見ふ頭等に設置してある無線中継局10箇所の改良を行いました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	合計(平成24年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	7,200	29,100	131,200	167,500	平成24・25年度は設計を行い、平成26年度に改良を実施したため。
人件費	千円	3,138	3,053	3,171	9,362	
合計	千円	10,338	32,153	134,371	176,862	

3 CHECK(検証)

指標名	24年度	25年度	26年度	最終目標	27	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	0.0	5.2	86.8	100(累計)	事業進捗率は、総事業費を100とした事業費の割合です。	
	実績	2.2	11.0	50.8			
	事業進捗状況(26年度)			順調・やや遅れ・遅れ			
目標							
実績							
事業進捗状況(26年度)							
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	国費内示減により、予定していた全ての箇所が実施できませんでしたが、平成27年度の事業完了に向け進めていきます。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性 事業着手時に比べ必要性が低下していないか? 事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○	背後地域の生命・財産を守るため、必要性は高くなっています。					
有効性 事務事業は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	○	高潮への対応を主眼とした現行システムを見直し、津波への対応も含めた機能強化を図ることは上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に貢献すると考えております。					
効率性 最小のコストとなっているか?	○	設計の段階から最小のコストとなるよう取り組んでいます。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	・平成27年度の完了に向けて、着実に整備を推進する必要があるため。
課題			27年度以降の取組
防潮壁背後は、海拔ゼロメートル地帯が広がり、背後住民の生命財産や企業等の資産を守るためにも、防潮扉、排水施設、沿岸防災情報管理システムの改修は急務となっております。そのため、早急に事業を進捗する必要があります。			平成27年度の事業完了に向け事業を進めていきます。